

申7号「駅体制の見直し」に関する申し入れ 団体交渉開催! ③

5.水戸営業統括センター(水戸駅)のサービスマネージャー解消後においても、サービスマネージャーが行ってきた業務内容を迅速・的確・丁寧に実施できる駅の業務執行体制を確立し、必要な要員を確保すること。

組合:サービスマネージャーの業務内容を明らかにすること。

会社:構内巡回やポスター整備、お客さま案内等である。

組合:サービスマネージャー解消に伴い、組合員・社員がどのように担うのか示すこと。

会社:サービスマネージャーだけが担っていたわけではない。今後は全ての社員がお客さまのニーズを把握し、サービスを提供する体制とする。

組合:サービスマネージャーが担っていたポスターやパンフレット整備等、今後の作業ダイヤで整理時間を確保すること。

会社:時間を固定化せず、フレキシブルな時間を確保し、駅総体で行う考えである。

組合:サービスマネージャー解消後も機動的な役割を担う社員を配置すること。

会社:作業ダイヤが柔軟になっており、駅総体で対応する考えである。必要な要員は確保する考えである。

組合:サービスマネージャーが独自に行っていた業務や今後の展望について示すこと。

会社:独自で担っていた業務はない。サービスマネージャーが不在日もあった。以前と比べ、柔軟性は増してきていると認識する。水戸駅以外でもお客さまのニーズに対応している。今後は全社員がサービスマネージャーの業務を担う考えである。

組合:サービスマネージャー解消に伴い、キャリアプランの選択肢が1つ減少した。水戸支社としてどう描いていくか展望を示すこと。

会社:イノベティブスタッフや公募制異動等、活躍の場がある。モチベーションを下げないように努力したい。

6.勝田営業統括センター(日立駅)の兼掌窓口化する目的を明らかにすること。また、箇所体制について一般の変形等1が減少する根拠を明らかにすること。

組合:日立駅の兼掌窓口化する目的を示すこと。

会社:効率的な業務執行体制を構築し生産性の向上や経営体質の抜本的強化に取り組む必要があることから、兼掌窓口化を行う。また、本施策の実施に伴い、業務量の変動や業務の見直しを行うことから、出面数を変更する。

組合:日立駅の兼掌窓口化する根拠を示すこと。

会社:石岡駅と同様の発券枚数であり、改札の精算件数は25件程度のため、兼掌窓口化は可能と判断した。

組合:改札機器を改修し、クレジットカードで精算出来るようにすること。

会社:要望は上申しているが、クレジットカード会社との契約や機器の改修等はすぐ出来るものではない。

組合:日立駅の今後の体制を示すこと。

会社:兼掌窓口化に伴い、一般の変形等1を解消し、副長1徹・一般2徹体制とする。

安心して働ける職場を実現しよう!